

令和2年7月29日



名古屋港管理組合

「第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画」

令和元年度の取組結果について

本組合では、第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画(平成29年7月策定)(以下「第4次実行計画」という。)に基づき、指定管理者、PFI 特定目的会社とともに温室効果ガスの排出削減を推進しております。

第4次実行計画の3年目となる令和元年度の取組結果は、温室効果ガス総排出量12,114トン(CO₂換算値)で、平成25年度(基準年度)から20.3%削減となりました。

なお、詳細については別添資料をご参照ください。

【お問合せ先】

名古屋港管理組合 企画調整室 環境担当
担当 鈴木、岡本
TEL 052-654-7892

※別添資料の内容で名古屋港のホームページにも掲載いたします。

■ 温室効果ガス総排出量と基準年度の比較(CO₂換算値)

項目	目標 (令和3年度)	単位	平成25年度 (基準年度)	令和元年度	削減率
温室効果ガスの総排出量	基準年度比 14%削減	t/年	15,198	12,114	▲ 20.3 %

■ 温室効果ガス総排出量削減に係る目標及び実績

取組項目	項目	目標 (令和3年度)	種類	単位	平成25年度 (基準年度)	令和元年度	削減率	
財やサービスの購入・使用に関する取組	(1) 燃料使用量	公用車	ガソリン	kl/年	36	27	▲ 25 % (CO ₂ 換算)	
		14%削減	軽油	kl/年	2.8	2.6		
			天然ガス	千m ³ /年	1.0	0		
		船舶	ガソリン	l/年	26	1,675	▲ 74 % (CO ₂ 換算)	
	14%削減	軽油	kl/年	62	15			
その他の事務・事業に当たっての温室効果ガスの排出の抑制等への取組	(1) 電気使用量	事務		万kWh/年	236	175	▲ 34 % (CO ₂ 換算)	
		14%削減						
		事業用施設			万kWh/年	2,488	2,233	▲ 21 % (CO ₂ 換算)
		14%削減						
	(2) ガス、石油等の燃料使用量	14%削減	事務+事業	重油	kl/年	38	43	9 % (CO ₂ 換算)
				都市ガス	千m ³ /年	327	324	
				LPG	千m ³ /年	17	17	
				灯油	l/年	20	0	
(3) ハイドロフルオロカーボン(HFC)などの代替物質を使用した製品等の購入・交換	適切な購入・交換	HFC	kg/年	0.64	0.55			
(4) 電気機械器具からの六ふっ化硫黄(SF ₆)の回収・破壊	適切な回収・破壊	SF ₆	kg/年	0.39	0			

■ 地球温暖化の抑制につながる目標及び実績

取組項目	項目	目標(令和3年度)	種類	単位	平成25年度 (基準年度)	令和元年度	削減率
財やサービスの購入・使用に関する取組	(1) コピー用紙の使用量	14%削減		t/年	16.5	16.8	1 %
その他の事務・事業に当たっての温室効果ガスの排出の抑制等への取組	(1) 水道使用量	基準年度の数値以下		万m ³ /年	2.0	2.3	18 %
	(2) 廃棄物の減量化	3%削減	廃棄物	t/年	14.6	14.6	0 %
		3%削減	可燃ごみ	t/年	11.6	11.4	▲ 1 %
	(3) 紙類のリサイクル	3%向上			%	68	70

■ 温室効果ガスの総排出量に係る項目の評価

第4次地球温暖化対策実行計画の取組3年目に当たる令和元年度の温室効果ガス総排出量については、設備更新や節電等の取組を推進したことにより削減目標(▲14%)を達成しました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策による水族館等の休館、港務艇の修繕工事等による運航停止も減少要因の一つとなっています。

1 燃料使用量

公用車：低燃費車への買替、走行距離の減少により25%削減
船舶：港務艇の経済運航、燃費の良い小型船舶の導入等により74%削減

2 電気使用量

事務：設備更新、節電及び事務所の移管・統廃合により34%削減
事業用施設：設備更新、施設の移管等により21%削減

3 ガス、石油等の燃料使用量

中川ロポンプ所等の稼働増加による重油の増加により9%増加

4 ハイドロフルオロカーボン

適切な購入・交換を行いました。

5 六ふっ化硫黄(SF₆)

同ガスが封入された変圧器・開閉器等の廃棄処分はありませんでした。

■ 令和2年度の取組

温室効果ガス総排出量の削減目標(平成25年度比で14%削減)を達成したことから、指定管理者等とともに、本組合の長期目標(令和12年度において平成25年度比で26%削減)の達成に向け取り組んでいきます。